

開講学科	総合デザイン工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	国際関係論	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		4年次	選択	18001301	
担当教員	今井 勇	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	木曜日	5時限
授業の教育目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。				
学科の学習・教育目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。				
キーワード	国際関係 国際協力 日本とアジア 冷戦 日本近・現代外交史				
授業の概要	本講義において扱う主要なテーマは以下の通りである。 a. 近代日本の国際関係—明治維新から敗戦まで b. 第二次世界大戦後の国際関係の構造—米ソ冷戦構造からポスト冷戦へ c. 戦後日本の国際関係—日米安保条約・貿易摩擦・国際協力 d. 現代の国際関係における諸課題—安全保障・地球環境・貧困と開発・人権				
授業の計画	第1回:	ガイダンス			
	第2回:	日本人とはだれか?			
	第3回:	近代日本国際関係の幕開け—日本とはどこか?			
	第4回:	近代日本国際関係の幕開け—創られた国境線			
	第5回:	明治国家と条約改正問題—岩倉遣欧使節団をめぐって			
	第6回:	日清・日露戦争と日本外交			
	第7回:	帝国主義列強への仲間入りから第一次世界大戦			
	第8回:	ロシア革命と各国共同干渉			
	第9回:	朝鮮半島問題を考える～中間レポートに向けて			
	第10回:	国際協調から孤立化への道			
	第11回:	日米開戦と大東亜共栄圏の真実			
	第12回:	近代日本の国際関係をどのように記憶するか—映像資料を使って			
	第13回:	歴史認識問題の克服に向けて ①—残された加害責任			
	第14回:	歴史認識問題の克服に向けて ②—戦後賠償問題の今日的課題			
	第15回:	補論・まとめ			
受講条件・関連科目	特にありません。				
授業方法	講義をおこないます。必要に応じて映像作品なども使用します。 講義後、出欠確認を兼ねたレスポンスシートの提出を求めます。				
テキスト・参考書	初回ガイダンスの際に参考文献を紹介するとともに、必要に応じてテキストを配布します。				
成績評価	・中間レポート (40%) ・期末テスト (40%) ・レスポンスシート (20%)				
履修上の注意	専門的な予備知識は求めませんが、問題意識の高い、学習意欲ある皆さんの受講を期待します。				